東由利村報

No. 101　1965・11・5

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

11月の税金の納期

国民健康保険税第3期分
回11月に発せられる督促状
村県民税　第3期分
固定資産税　第3期分

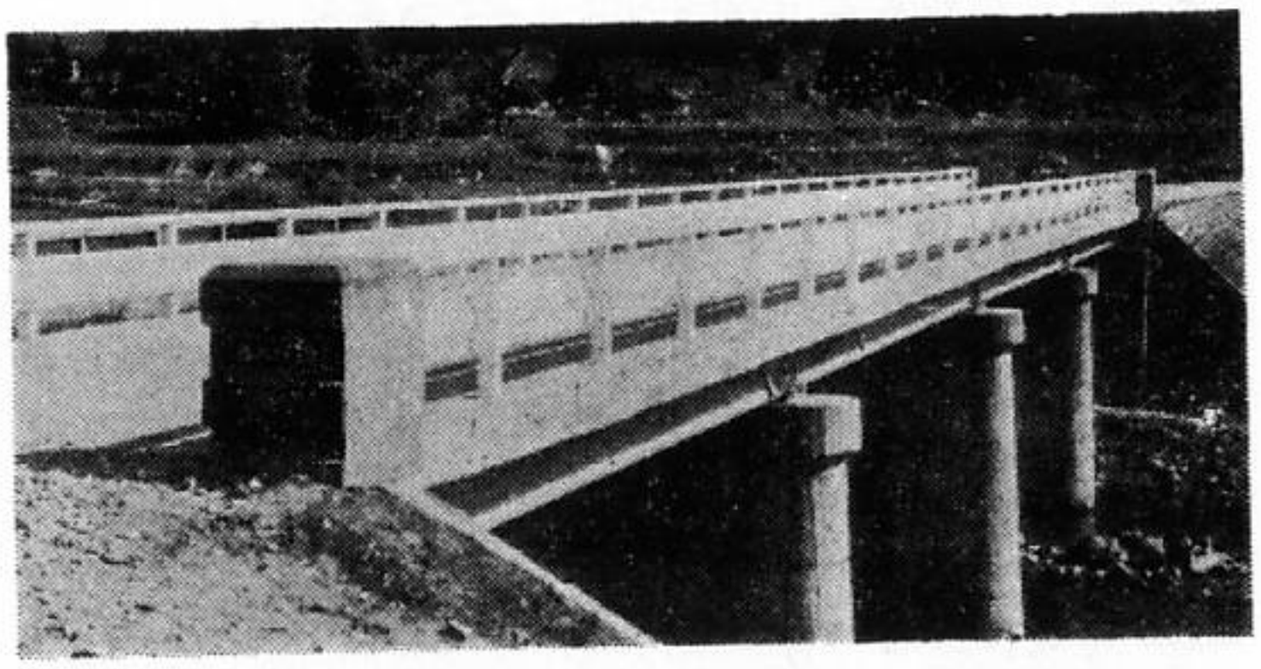
東由利村10周年記念式

11月10日10時半から、下郷中学校を会場として「東由利村10周年記念式」と、併せて宿橋、西久保橋、倉林道の完工式を行う。

新村発足以来10年の歩みをふりかえり、更に今後の前進の決意を新たにするために、これまで村発展のために特に尽力された、小畑知事、国、県会議員など村外１００名、村内１７９名の方々を招待して深く感謝の意を表する。

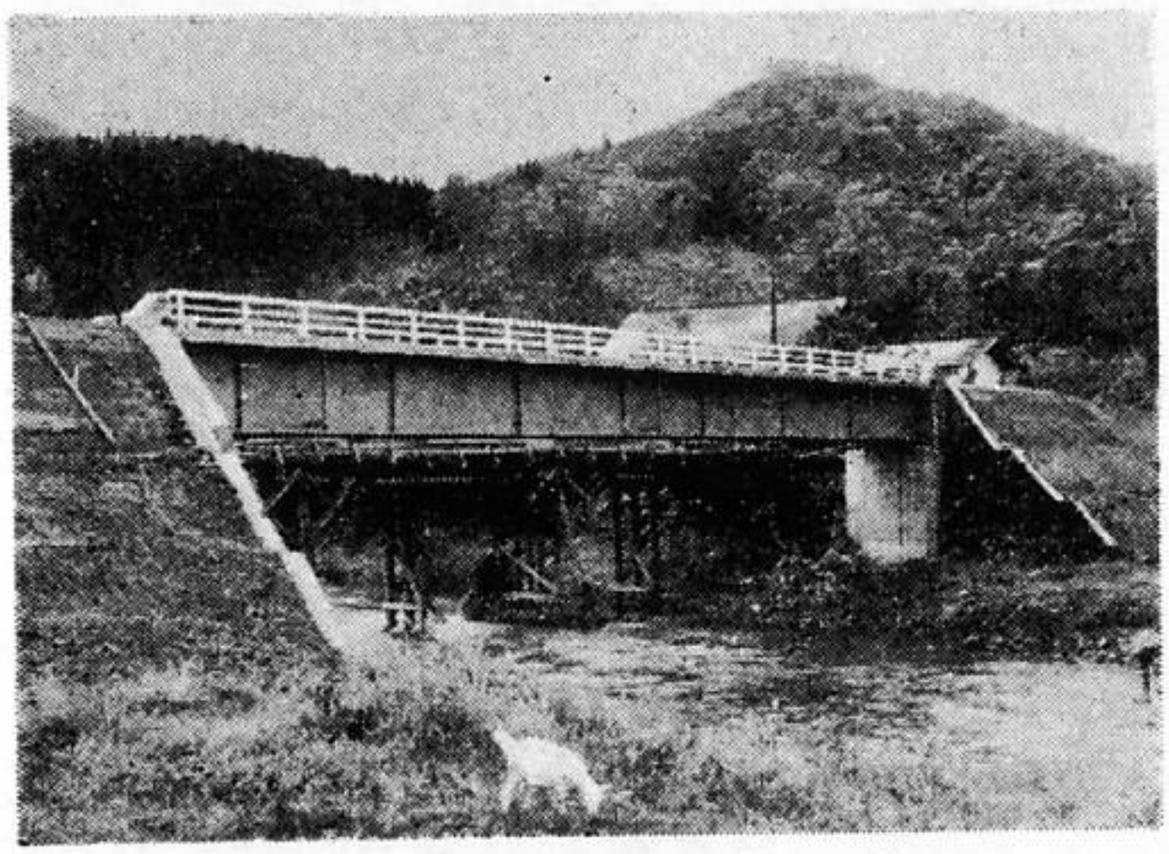
村内感謝状贈呈者

1、合併当時からの連続村議会議員、3
2、20年以上勤続役場職員 4
3、合併以来の消防団幹部 4
4　〃　部落長　4
1、１０カ年以上完納々税組合１１



西久保橋　39年12月　完工

倉林道　39年10月　完工



宿　橋　40年9月　完工

子ども会育成連絡協議会

10月29日、由利総合庁舎で郡福祉事務所長主催でこの会が開かれた。

青少年の健全育成は国家の重要問題として佐藤総理を始め、真剣にこの問題と取組む姿勢を示している。このことについては学校、家庭、各種団体が総合一体となって努力しなければ実効をあげることが出来ないので、今回は学校職員・ＰＴＡ・子ども会世話人・親の会・公民館・役場の子ども会事務担当者などが集まって、互いに連絡の上総合的な計画を推し進めようという趣旨の会合であった。

午前午後にわたって熱心に話し合った結果、次のようなことが共通の問題として取上られた。

1、子ども会育成の主体がどこにあるのか各町村ともはっきりしない。これはぜひ町村行政の中に主体をおくべきである。
2、子ども会の目標がはっきりしない。目標をはっきりして、それぞれの分野で分担して協力するような体制にならなければ総合力を発揮することが出来ない。
3、文部省、厚生省の二つの系統を通じて指導方針が流れて来るが、そうしたことにはこだわりなく、地域の実情に即した子ども自体の創造力を生かすような運営をすべきだ。
4、小・中・高校生は別々の組織を持ったら…ということについては、子ども会の中心は５・６年に置くが、グループ活動は行事内容によって分けるべきで、年齢や学校によって分けるべきではない。例えば水泳などは幼児から高校生まで一しょにした方が都合がよい。
5、学校教育の現状から職員の負担はなるべく軽くしなければならない。しかし目標に近づけるためのプログラムをつくってもらって、その中から子ども達に自由にえらばせ、実践は関係団体がそれぞれの分野で担当し、成果の判定や激励の面を分担してもらいたい。

村では、近く今回の出席者に役場に集まってもらって、村としての具体的な原案をつくり、関係方面ともよく連絡協議して、今回の申し合せを本格的に推し進めることにしている。

□県税だより□

11月は個人事業税第２期分の納期です。あなたも私も納期内に納付して、すっきりした気持で事業に励みましょう。

○

公給領収証を受けとりましょう。

根本代議士
村内視察

10月29日、根本代議士は久し振りに村の道路産業視察のために来村された。

午前10時から約１時間にわたって、今後の農業の見通しなどについて所信を述べられたあと、道路視察をされながらかってその実現のために大きく援助された八塩ダムで鯉つりなどを楽しまれた。

講演要旨

農政学者はこれまで理論的に大きなあやまちをおかしていた。高度経済成長の盛んに唱えられていた昭和37年の最高の豊作の年の米の生産額は1,309万トンで、食糧の自給体制が出来上ったかのように考えられていた。これはまことに甘い考えであって、その後米の生産は年々低下し、一方低下すると予測した米の消費は逆にふえて、本年は冷害や台風に見舞われながらも、1,256万トンという昨年並の作柄にこぎつけたにもかかわらず、本米穀年度の準内地米の輸入は計画の倍の80万トンとなった。

これは昭和36～38年３カ年間の平均16万６千トンにくらべ、おどろくべき増加で、今日世界市場に出廻る米の全量の２分の１に当る数量である

なおこの外に日本は、パンめん類用小麦のほぼ全量と飼料、肉類などの農産物の輸入が年々目立ってふえ、近いうちに食糧の輸入が総輸入額の半分になるのではないかと心配されている。

今や米を始めとする主食を経済上の考えから商品として見るべきか、国家の安全という政治上の問題として考えるべきかの重大な時期に来ている。国家の前途をになう上からも、経済的利益の上からも＝農業はもうからない仕事だ＝というような間ちがった考えにまどうことなく、確固たる自信の上にたって農業にがんばるべきだと思う。

次に道路のことであるが、私は建設大臣時代に、道路建設２兆円計画をたてた。これはその頃としてはずいぶん思いきった計画で、相当世間にさわがれたものだが、それにはこういうわけがある。

私はその前に東南アジヤを視察して、そこでの日本貿易がふるわない。日本の品物は欧米の商品より生産費がグンと安いのに、ねだんの競争に負けて伸びないのはなぜかと調べて見ると、それは主として国内運賃が高くつくからだということがわかった。そこで国内道路の整備にふみ切った次第である

村の道路

久し振りにこの村に来て見たが、道路が実によくなって村が見ちがえるようになってまことに喜こばしい地域の開発は先づ道路から…であるみんなが心を合せてよりよい道をつくるようにしてもらいたい。

鯉つりを楽しむ根本先生

東北電力だより

１、昇圧工事について

東北電力本荘営業所下郷出張所管内の電力は現在、松本郷内の変電所から送電されており、昭和34年５月の第１次電圧改善工事によって、3,300ボルトの電圧になっております。

ところが近年各種の動力と家庭電化の普及により電気の需要が急激にふえてまいりまして、この電圧では間に合わなくなりました。そこで会社では、能率の向上とサービスの改善をはかるため、電圧を6,000ボルトに昇圧するためただ今調査中ですので、明41年中に昇圧工事を完成する計画です。

完工後は電動機の能力が著しく向上するだけでなく、テレビなども見ちがえるようにはっきり見えるようになる。

２、電気工事の申し込み

電気の工事についてはこれまで、今日のことを今申しこまれるような方がずいぶん多かったのですが、何分にも村全体の広い区域ですから、予じめ作業計画を立ててむだのないようにしなければ、需要者のご希望にそいかね、不便をおかけする場合がありましたので、少くとも工事は１週間前に申しこんで下さるようご協力をおねがいいたします

感電事故を防ぐ

電気安全、十訓

近年科学の進歩にともない電気の利用度が年々高くなり日常生活にかくことの出来ないものになっております。

その反面、電気による事故も年々増加の傾向を示しており、特に夏分の感電事故は、全体の３分の２以上を占めております。

つきましては、一般公衆の感電事故を防止するため、次の「電気安全十訓」を十分にお守り下さいますようおすすめいたします。

（東北電力本荘営業所長）

□電気安全十訓□

１、電柱には絶対にのぼらぬようにいたしまょう。
２、切れた電線には手をふれないで、電力会社に知らせましょう。
３、電柱の支線をゆさぶることをやめましょう。
４、屋根にあがる時はまづ電線に注意しましょう。
５、配電線の近くで作業するときは、電力会社に連絡して予防処置をしてからにしましょう。
６、タコ足配線は危険です。電気器具はかならずコンセント（正式のサシコミ）からにしましょう。
７安全器にはきめられたフユーズを入れましょう。
８、熱器具のビニールコードは危険です。すぐ袋打コードと取かえましょう。
９、洗たく機には必らずアースをつけましょう。
10、コードを釘にかけることはやめましょう。

11月４日～10日

秋季無火災県民運動

11月４日早朝ポンプ性能試験のエンジンの勇ましいうなりと共に、全県一斉に行われる＝冬季無火災県民運動強調週間＝が始まった。

我が村では年々無火災を祈念して努力して来ているが仲々その望みは達せられない。今年も１月早々火災があったが、幸にもその後は１件もなく今日に至っている。これからいよいよ本格的な冬になり例年火災の多い季節になっておりますので特にこの期間をえらんで無火災運動を行っているわけです。

消防団の指導に真けんに協力することは勿論ですが、村民の一人一人が消防団員の心となり、全村皆消防団員の心構えでひとり週間中のみならず常時この運動をつづけて完全に火災から村をまもるようにいたしましょう。

農業はむずかしい

しかし楽しく・安定し・もうかる

□□斎藤憲三先生の講演から□□

11月2日午後1時から玉米小学校で斎藤憲三先生の〝微生物農業〟についての講演会があった。

お話は原子の世界から説き起され、大自然は、鉱物→植物→動物→鉱物とじゅんかんする。

人体を分折すると27の元素（鉱物）となる。草木も大体その位の元素になる。

しかし、人体に鉄分が不足になったからとて鉄をそのまま飲んだのでは吸収されないで病気になる。人体に吸収される鉄は一たん植物体に含まれた鉄でなければならぬ。

自然の鉄を人間が吸収出来る形の鉄にして植物体にふくませる働きをするのは土中の微生物である。微生物の住んで居ない土には植物は育たない。微生物は酸度7.3～7.4の弱アルカリ性の土に最もよく繁殖し酸度5になれば生活出来なくなるからクローバーなどは生えただけでうせてしまう。ところが人間の最高の健康体の血液の酸度が弱アルカリ性の時で土とピッタリー致する。酸性が強くなると血がねばって来るために高血圧となり種々の病気を引き起す。

よい土・健康体をつくる

よい土をつくるには木醋液をまいて消毒し、木醋液で分解させた肥料を施すのが一番よい。木醋液は有害きんを殺し根溜きんのような有益きんの繁殖を助ける。

味と飼料

農産物の大方は食料になる。たべられる物である以上、ねらいはうまい物をつくることである。うまい物をつくればなんでも高く売れる。牛、豚ニワトリなどうまくするには穀類をコウジにして与えるのがよく、イモ、カボチャなどの野菜は木醋液を使うとよい

酪農と牧草

酪農を成功させるものは豊富な牧草である。本村のような地形上大草地のつくれないところではせまい土地からたくさんの収量のある草地をつくらなければならぬ。

今度見つけた牧草にコンコリーというのがある。ロシヤ原産の多年草で一度植えれば40年は持つという。10日～15日位で刈れるので反当50トン（1万5千〆）とれるというから今年から試作することにした。

木醋液（もくさくえき）

炭を焼く時の煙を冷してとったもの、その使いみちは

①消毒—畑、鶏畜舎、イモチ白葉枯、菜類のコブなど
②防腐—木材、魚、野菜
③防臭—あらゆる臭味をとる
④ハエ、ウジ殺し
⑤寄生虫の卵を殺す
⑥肥料分解—人糞、牛糞など

む　す　び

広大な大自然には人間の知識の及ばないはかり知れない無限の世界がある。その一つ一つを開明するのが科学である

私は67才の今日まで科学の研究に努力し、種々の事業にもたづさわって来たが、生物を相手とする農業位むづかしいものはない。しかしこんなに面白く、安定した、もうかる仕事もない。

木醋液を活用した微生物農業にいのちをかけて、今後10年、必らず成功する確信をもっている。

国民健康保険の実態

税金が高くはなつたけれど

表1は医療費のうち役場で支払う財源はどのように組まれているかを示したものです

みなさんのおさめる国保税の4分に対して、国から6分が出ています。

表2は昨年4月から8月までの5カ月を今年の同じ期間の医療費と、世帯員全部の医療費の7割を給付した結果の額をくらべたものである。

医療費が大巾にふえたのに7割給付によって患者の支払った金額が逆に大きくへっていることがよくわかります。

表3と表4とは保険税の賦課状況と収納状況を昨年同期とくらべたものです。

保険税は昨年より3割4分額にして295万1千円ふえているが、役場が払った方は5カ月で392万9千円となっておりま

保険税のおさまり方

昨年の同じ時期にくらべるとよくなって来ておりますので感謝しておりますが、医者にかかる人が多くなり医療費も急にふえて来たために、役場の方の支払も容易ならぬところに来ておりますので、納期内の完納はもちろんのこと今年もぜひ年度内完納を実施され、国保事業の円滑な運営が出来ますよう、ご協力をお願いいたします。

1　療養諸費の財源区分（予算）　（単位千円）

区　分	国庫支出金	保険税	繰入金	財産収入	その他
療養費総額	17,369	11,596	270	270	128
財源比率	58.61%	39.13%	0.91%	0.91%	0.44%

2　給付実績

区　分	療養諸費	村支払額	患者支払額
39年度　4～8月	11,441	6,372	4,943
40年度　4～8月	14,807	10,301	4,425
前年比増減	＋ 3,366	＋ 3,929	－ 522
前年比率	129%	162%	89%

3　保険税賦課状況（現年度分）

40年度調定額	39年度調定額	対前年比増	対前年比率
11,576	8,655	2,921	134%

4　保険税収納状況

昭和40　9月末		昭和39　9月末		前年対比	
収納額	収納率	収納額	収納率	収納増	上昇率
2,894	24.8%	1,663	19.4%	1,231	5.4%

村内土木工事からも
お金を得るように

県土木部長より各土建業者に対して次のように指示して来ております。

「今年の10月9日以降発注した道路、橋、河川などの公共工事と、明年3月末日までに発注される工事については、冷害で困っている農民を優先的に雇い入れていくらかでも生活の安定に役立つよに」この趣旨に従い各業者とも受入れ体制をととのえて協力態勢をとっておりますから、どこの現場でもいいからご遠慮なく働らきにお出下さるようとのことです。

交通安全用材
など寄附

さきの秋の交通安全運動期間中、下郷中学校生徒の活動が真剣だったので、これに感動したＰＴＡ会長の佐藤謙吉氏は、門柱、道路標議、自転車置場の柵などの用材（8千円代）を寄附し、その工賃も負担して、この運動を援助せられた。

役場は毎日苗木の山

植付100ヘクタール越す

我が村の植林意欲は年々に高まり、今年は植栽面積が別表のとおり、村営の40ヘクタール余と私有林の60ヘクタール余と合せてついに100ヘクヘールを突破し、苗木の需要も32万本をこえた。

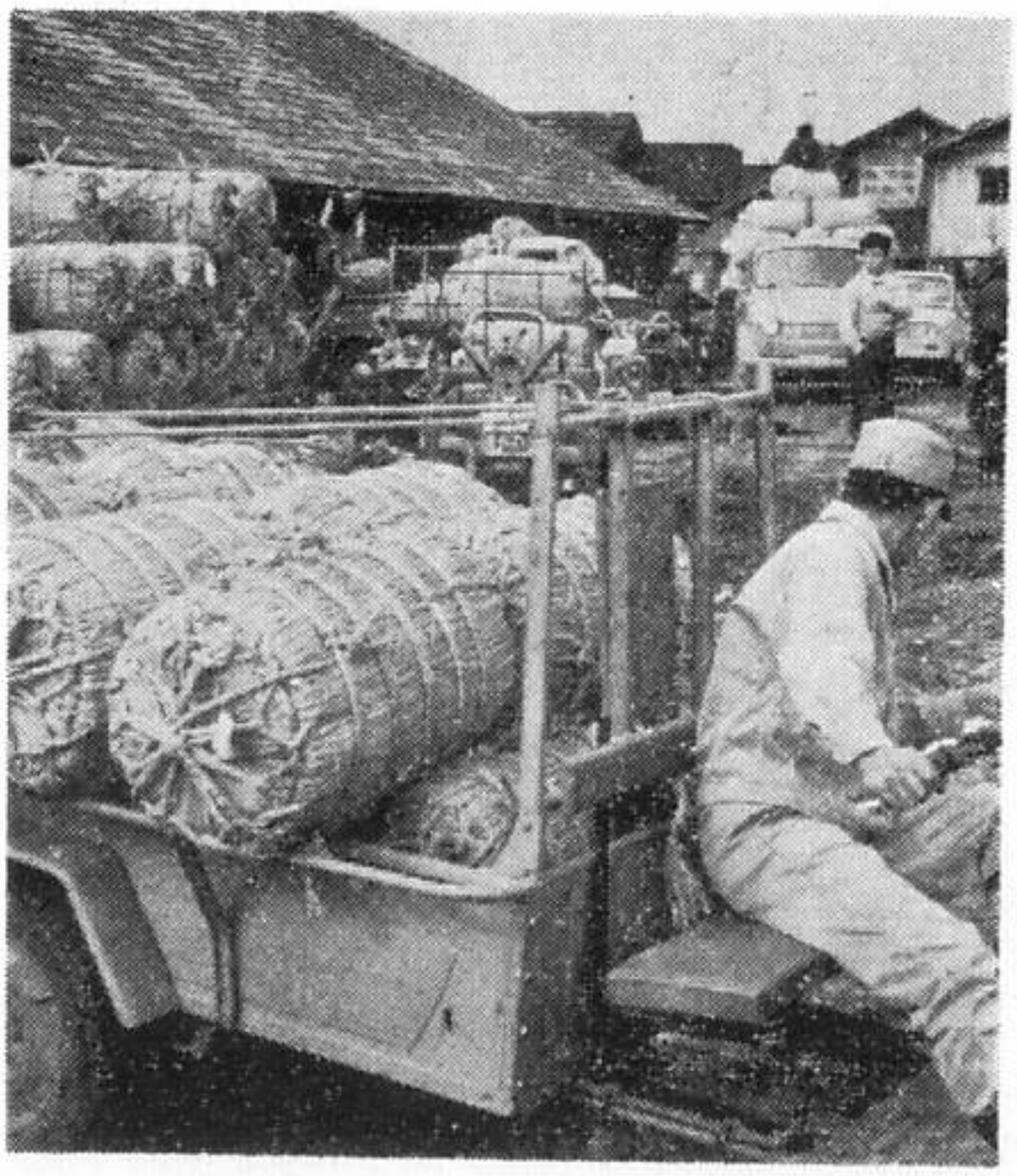
役場前には毎日続々と苗木が到着し、次々に手ぎわよく配達されている。

村有林の昭和年40度秋季造林事業

経営区分	面積	樹種別本数 すぎ	あか松	から松	計
直営林	22.50HA	74.250本	本	本	74.250本
分収林	14.60	42.000	3.500		45.500
入会林	3.00	8.500		800	9.300
計	40.10	124.750	3.500	800	129.050

私有林（森林組合）の昭和40年度秋季造林事業

私有林	60.00	181.460	2.100	6.000	189.560

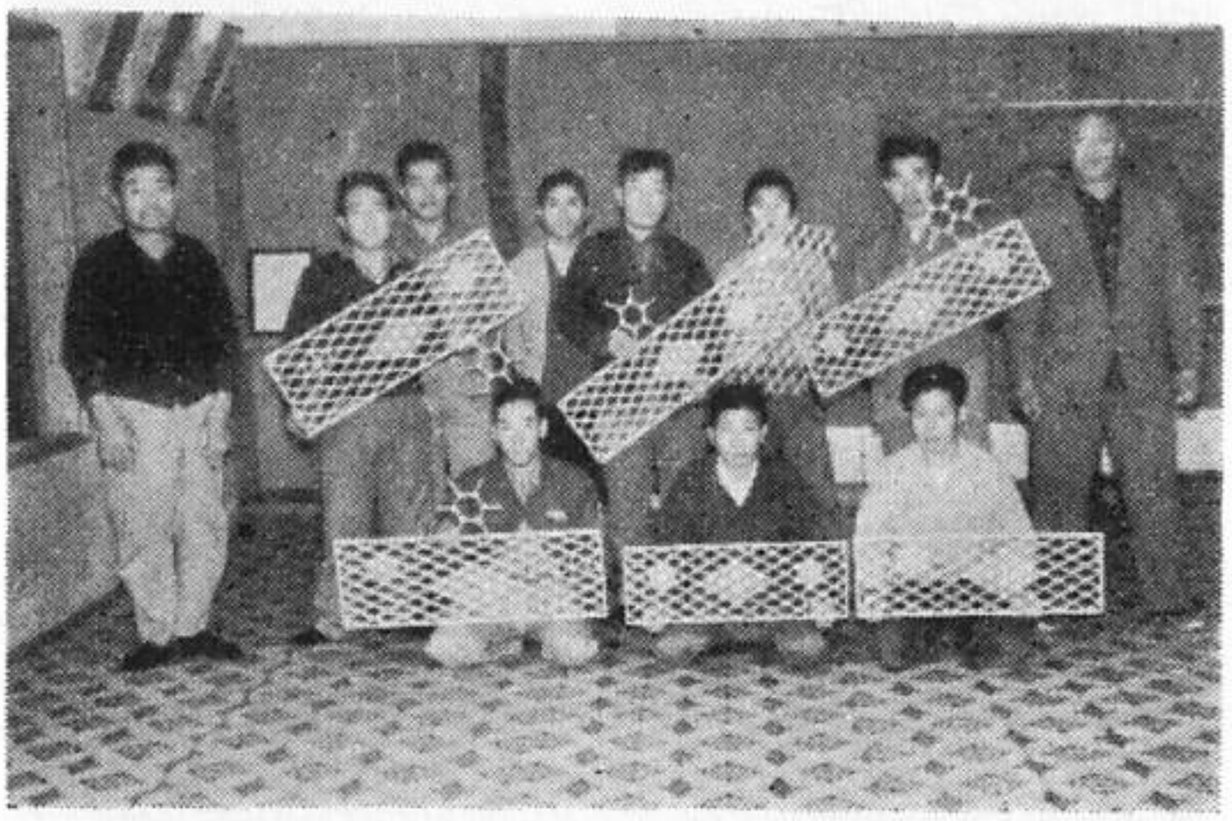


東由利倉庫の米の売渡し風景

昭和40.10.30　現在買入累計

地区名	1	2	3	4	5	水甲	計
下郷	170	9.134	8.016	242	74	224	17.860
玉米	52	4.906	3.720	141	29	95	8.943
合計	222	14.040	11.736	383	103	319	26.803

昨年10月末日現在　48.705



成人病（胃部）集団検診

下記日程により胃の集団検診を行います。

なお先に申込みされた以外の方で検診を希望される方は至急役場の係まで申込んで下さい。（料金は1人450円）

記

期日、11月22日、場所、役場

区域、蔵・法内・老方地区

11月24日。玉米小学校、住吉館合地区

11月25日。大琴佐々木貞一氏宅前、宿、袖山地地

検査を実施していますが、何の届出もなく検査を受けない者が多いので牛馬籍の整理が出来なく困っています。

これまで検査を受けないでしまった者は至急係まで理由を届け牛馬籍を整理して下さい

尚今後の日程に当っている部落は必らず引きつけ検査を受けて下さい。

何の理由もなく検査を受けない者は県条例によって罰せられることがあります。

1　郵便局便から

年賀葉書のおしらせ

○4円5円とも11月10日から売ります。

○低料扱い期間延長

4円のはがきは11月15日から翌年1月12日まで

○早く出すようお願い

12月22日ころまで

○名宛は番地肩書まで

2、現金書留郵便物書留表の使用は、11月1日から始めました。これまでの現金封筒につけていた配達票が、4連式のの書留票になった

総牛馬検査実施中

11月4日より40年度総牛馬

動力耕転機運転免許講習

近年農業トラクターを始め農業機械による路上及び圃場での事故が急増していることから、安全の保持と作業効率を上げることを目的として下記により講習会及び免許試験を実施するので受験希望者は11月15日まで役場勧業係に申込んで下さい。（電話可）

内容　動力耕転機運転免許取得講習会

期間　2日・初日講習、翌日試験

時期　12月上旬

場所　本荘市の予定

◎　受講料は無料、申込者には後日詳細を連絡する

商工会の研修

東由利商工会では会員の実力を高めるために張り切っているが、最近3回にわたって次の講習会を開いた。

①建具抜術（組子）講習会

会期、10月26・27、2日間

会場、大琴部落会館

講師、吉田金之助氏（秋田）

受講者、村内建具師（前郷からも2名参加）

②規矩術講習会

期日、会場①と同じ、

講師、簿衣八百蔵氏（岩手）

規矩術とは、曲尺を用いて割算掛算はもとより、開平開立など高算数学まで自由に算出出来る日本古来独特の算法であり、講師の簿衣氏は横手城（展望台）の設計と工事を担当し、最近完成した斯道の大家である。

③経済状勢と経営法

期日、10月31日

会場、玉米小学校

講師、山形大学、岩瀬源次先生

最近の経済状勢から、相次ぐ倒産の原因に対し、経営者はどう考え、どう対処したらよいかという切実な問題をとらえ、一々実例をもって具体的に指導して下さったので多大の参考になった。